

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月7日

【評価実施概要】

事業所番号	0172900656		
法人名	特定非営利活動法人 こうえい会		
事業所名	グループホーム こうえい愛宕館		
所在地	北海道旭川市豊岡8条7丁目3番2号 (電話) 0166-37-4611		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年3月7日	評価確定日	平成20年3月21日

【情報提供票より】(平成20年3月3日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)13年4月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	18人	常勤	18人, 非常勤 人, 常勤換算 10.4人

(2) 建物概要

建物構造	愛宕館 木造亜鉛メッキ銅版葺 造り		ひかり館 鉄骨亜鉛メッキ銅版葺 造り	
	1階建ての		~ 1階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000円	その他の経費(月額)	19,000~23,000円	
敷金	(有) 50,000円	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	(有) 50,000円	有りの場合償却の有無	有 / (無)	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,350円	

(4) 利用者の概要(3月3日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	4名	要介護2	5名		
要介護3	2名	要介護4	6名		
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 85.3歳	最低	57歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	国本病院 忠和CL 橋爪CL リハビリテーション医院
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当法人としてケアサービスを展開する2つ目のグループホームで、理念は無条件の愛を基本にし、入居者本位の姿勢が徹底されています。施設長は北海道グループホーム協議会などの役員に関わり、講演も行い認知症ケアの向上に貢献されています。また施設長は現在行われている外部評価のあり方にも真摯な考え方をもち、グループホーム全体のレベルアップを目指しています。ホームは保育園を改造し、居室・トイレ・キッチンなどが生活リハビリに役立つ造りとなっています。それぞれの管理者は介護支援専門員・介護福祉士・認知症ケア専門士の資格を有し、ターミナルケア研修などをはじめ多くの研修も受講され質の高いリーダーシップが発揮されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価では、家族や地域の人への認知症に関する理解があげられていたが、各ユニットごとに毎月発行されている「館だより」にて、施設長・職員はそれぞれAさんBさんという表現で認知症の啓発に努められています。今後はキャラバンメイトの活動も予定されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は各ユニット別に全職員が参画され、日々の業務や職員自らがケアへの工夫の機会として捉え、取り組んでいます。また施設長は今回の外部評価を受審することの意義を「館だより」にて家族にも伝えられています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は2ヶ月に1回行われ、医療連携・身体ケア・福祉についてまでグローバルに及んでいます。また家族からの相談や質問には分かりやすく答えるなど家族が参加しやすい雰囲気のもとで行われています。今後も定期的な開催し、更なるサービスの質の向上に取り組むため、町内会を含め地域住民を招き、認知症についての理解を啓発する場を作り地域との連携を深めていく姿勢が伺えました。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 毎月発行されているユニット毎の「館だより」で入居者の日常生活などが紹介され、家族が訪問した際にもより具体的な報告が行われています。今回の評価にあたっての「利用者家族アンケート」にも表れていますが、真から感謝の記述もあり家族が安心できる対応がなされています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホームの隣に施設長の住宅があり、住民とは既に馴染みの関係ができています。また運営推進会議のメンバーに町内会会長が参加しており、地域との連携が深められています。今後はキャラバンメイトの活動を行い認知症に対する啓発などにも取り組まれようとしています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	日々の業務の中で入居者のケアについての、迷いや疑問などが生じた時などには、指針となるような事業所独自の理念が作り上げられています。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	三つの理念に基づいており、その理念が入居者にとっては「生きる喜び」に、家族には「安心」が、職員には「工夫の源」となり、職員各自が持ち歩き、常に意識できる取り組みがなされています。		特筆すべき点として、母体法人は北海道グループホーム連絡協議会の役員を永く務め、地域のケアサービスの質の向上に寄与してきた道内を代表するホームのひとつです。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、花壇の花植え・盆踊りなどの行事に参加したり、ぶどう狩りに行った時などには近所の方へ報告がてら、お持ちするなど地元の人々と交流されています。そう遠くない時期に町内でキャラバンメイト活動の展開が計画されています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員が自己評価を行う上で、運営上や日々の仕事の中で何が大切なのかを考え、新たなケアの提案を探られています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	2ヶ月に1回定期的に開催されています。議題については「外部評価の報告」や「医療と福祉について」など先を見据えた、サービスの向上に活かされています。		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	市などで開催される研修会等にも積極的に参加し、管理者は市担当者へ都度相談に行くなどしています。また市町村からの依頼による認知症の研修会等の講師を受けるなど、あらゆる場面において連携が持たれ、サービスの向上に取り組んでいます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	家族会の開催時にスライドを利用して入居者の様子をお知らせしたり、「館だより」でも日々の暮らしぶりを案内されています。緊急な事態においては迅速な対応が行われ、金銭管理も適切に行われその旨家族へ報告されています。		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	職員と家族の信頼関係があるため意見や相談できる雰囲気があり、訪問時や電話などで気軽に話し合われています。また制度上のことなどは丁寧に説明が行われています。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	施設長・管理者は、やり甲斐のある環境づくりと職員のスキルアップの取り組みや資格取得の支援を日常的に行われています。またユニット間の異動を控え、入居者にダメージを与えないよう配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、日頃より各職員の考え方を細かく聴き、とりわけ独自のレベルの高い勉強会で知識を深められています。また都度課題を見つけフォローアップを重ね、それらをより質の高いケアの実践に向けられるよう話し合わせ、運営に反映されています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	道の実践者研修・グループホーム協議会や地域包括支援センターとの情報交換などに職員が参加し、他事業者との交流・勉強会なども積極的に行われており、サービスの質の向上にも取り組まれています。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家具や寝具などのレイアウトなど細部にわたって配慮され、在宅時の生活に近づく様に利用前に訪問を重ねてもらいながら、職員や入居者、そして場の雰囲気に徐々に馴染めるような工夫がなされています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	「その人らしく生きる」ために日々の生活にて入居者と職員が向き合うことを大切にする中、「喜びの実現」を共感し本人の気持ちに沿った支え合う関係が築かれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人の生活歴の情報収集に時間をかけ、また家族とも相談し公民館に本を借りに行ったり、編み物などの希望や意向を尊重し継続した取り組みがなされています。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画はセンター方式をもとに作成されており、本人・家族の思いや意見を聴き「その人らしい」生活を送れるよう、具体的な介護計画を職員で話し合い作成に活かされています。</p>		<p>水分・食事摂取量やバイタルチェック表など具体的に記録されています。今後は更に各記録用紙を整理し、効率を高める工夫が検討されています。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月のカンファレンスで評価・見直しと都度体調の変化に応じ、ミニカンファレンスを開き本人・家族と職員が連携を取り、現状に即した新たな計画作りがなされています。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合は散歩や買い物など柔軟な支援を行っています。また美容院やお寺への外出支援なども、その時々々の要望に沿い対応されています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	かかりつけ医との連携で医師や看護師と気軽に相談が出来ており、適切な医療が受けられるよう支援されています。また医療連携体制を取り、健康管理のアドバイスも受けています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族と最期の在り方や重度化における対応についても主治医と相談し、本人・家族の要望に応えられるよう積極的に話し合いが行われ、職員間でも共有されています。		特筆すべき点として、運営者・管理者・職員は重度化した場合や終末期の在り方を真摯に話し合われています。契約書とか同意書ではなく覚書とし、法人独自の『終末期の生活介護覚書』を作成されています。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	勉強会やミーティング等を通じて個人情報の保護に関することを徹底しています。また勘違いや間違いでもプライドを傷つけない配慮で支援が行われるよう職員間で統一しています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	要望の表出が難しい人などには、日常生活の中で、何を求めているかなどを探りながら、本人のペースでその人らしい生活が出来るよう支援がされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	その日の体調に合わせ、料理が出来上がる喜びを実感したり、それぞれの力量に合わせた役割を担っています。また食欲のない時などは工夫し、その人に合った支援がなされています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	概ね入浴日や時間は決まっておりますが、その人の要望や生活歴などを考慮し、ゆっくりと楽しみながら入浴できるよう支援されています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	リビングのモップかけ、洗たく物干しや雪はねなど、出来る喜びや達成感・存在感を大切にしながら、買い物などの外出の機会も多くつくられています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その方の要望に沿い、生まれ育った家・兄弟の家・お墓・温泉や喫茶店など、心身のリフレッシュや気分転換が出来るような外出の支援がされています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけておらず、センサーの設置等で心理的圧迫を与えることのないようなケアに取り組まれています。外出したい方には一緒に歩いて行くなど安全面に配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年3回の避難訓練を実施し、消防署員による避難方法の指導も受けています。運営推進会議でも地域の人々と災害時の事を話し合われ、理解を広める取り組みもされています。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事・水分摂取量もチェック表にて記録され、主治医の受診内容から栄養状態の把握も出来ています。食卓テーブル等のレイアウトが良く、ゆったりとした食事風景がつくられております。</p>		<p>食卓テーブルのレイアウトも工夫され、ゆったりとした食事の支援がされています。今後は、一部にテーブルの高さと椅子の高さとのバランスの不具合が見られますが、調整される検討がされています。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関には生花を飾ったり、昔懐かしい置物が置かれ家庭的な雰囲気となっています。居間には横になれるスペースが確保されており、入居者と職員がゆったりとした時間を過ごせるよう配慮され、居心地良く過ごせる工夫が多く見られます。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>それぞれの居室形態を活かした上で、長年使用していた工具類や愛着のある裁縫道具などの品々も持ち込まれ、自宅の延長の場となっています。それらの工夫が本人の居心地良さを最大限に活かされています。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。